

1 漁業担い手満足度調査とは

- ◆ 調査の目的
「なりわい」としての漁業の魅力、漁業者の満足度（総合満足度※1）を指標として定量化するとともに、満足度に影響を与える要因を分析し、就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするもの。
- ◆ 調査方法 アンケート調査
- ◆ 調査対象 岩手県漁業士※2 87人（令和元年9月11日現在の名簿登載者）
- ◆ 調査時期 令和元年5～6月及び11月
- ◆ 調査項目 総合満足度及び個別満足度（30項目）
- ◆ 回収結果 有効回収率65.5%（有効回収数57人）

※1 総合満足度とは、漁業者が就業に対して感じている満足度を数値化したもので、算出方法は次のとおりです。

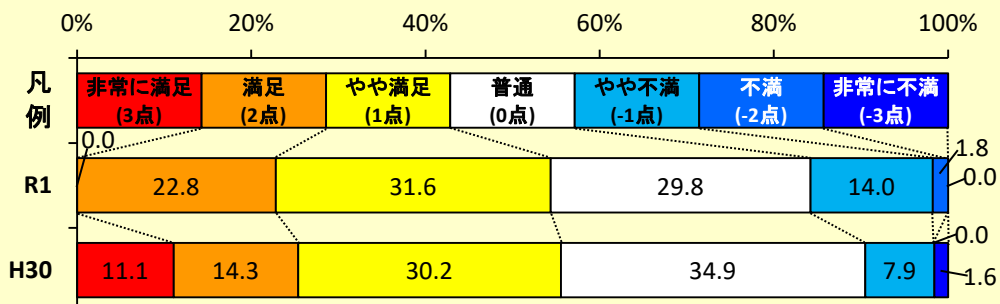
$$\text{総合満足度(平均点)} = \frac{(\text{非常に満足} \times 3) + (\text{満足} \times 2) + (\text{やや満足} \times 1) + (\text{ふつう} \times 0) + (\text{やや不満} \times (-1)) + (\text{不満} \times (-2)) + (\text{非常に不満} \times (-3))}{(\text{全回答者数})}$$

▽ この算出方法では、平均点は-3.00点～3.00点の範囲となり、0.00点が中間点となります。

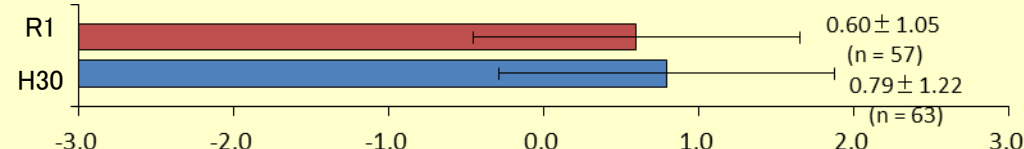
※2 本県の漁業者のうち地域漁業の中核的な役割を担う者として、知事の認定を受けた者。

2 総合満足度

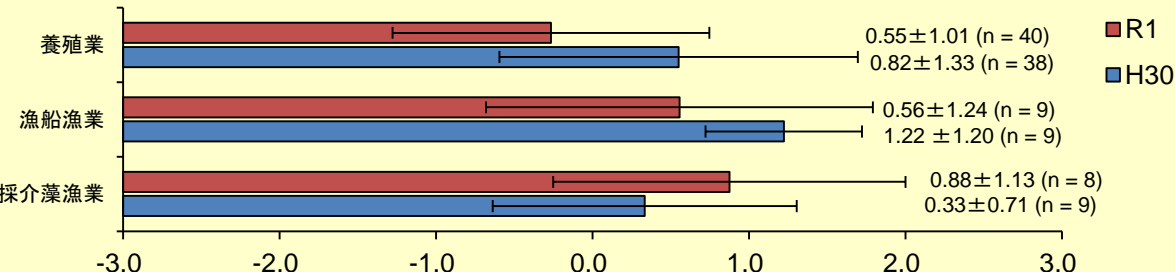
- ◆ 構成比
「非常に満足」～「やや満足」の回答割合が低下しました。



- ◆ 数値
全体の傾向：総合満足度が低下しました。



- ◆ 漁業種別の傾向：「養殖業」と「漁船漁業」で低下、「採介藻漁業」で上昇しました。



3 個別満足度

- ◆ 全体の傾向
「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「継続意欲」など「仕事」に係る項目の個別満足度は上昇しましたが、「仕事量・労働時間」などの「労働条件」に係る項目や「漁業就業者支援」の項目の個別満足度が低下しました。
- ◆ 漁業種別の傾向
「養殖業」では、「やりがい」など「仕事」に係る項目の個別満足度が上昇しましたが、「仕事量・労働時間」など「労働条件」に係る項目や「漁業就業者支援」の項目の個別満足度が低下しました。
「漁船漁業」では、「仕事量・労働時間」、「後継者」、「漁業権行使」、「単価水準」など多くの項目で個別満足度が低下し、特に「労働条件」、「経営目標」、「収入」に係る項目の個別満足度が低下しました。
「採介藻漁業」では、「役割の発揮」、「漁業秩序の維持」、「地域とのつながり」、「漁場環境」など多くの項目で個別満足度が上昇しました。

4 満足度構造分析

- ◆ 全体の傾向
分析の結果、「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「継続意欲」、「自己啓発」が「重要項目」となり、「漁業就業者支援」が「課題項目」となりました。



5 まとめ

- ◆ 岩手県漁業担い手育成ビジョン（平成28～31年度）
平成28年3月に策定した「岩手県漁業担い手育成ビジョン（平成28～31年度）」では、総合満足度を指標として、基本目標を設定しています。
今年度の調査では、総合満足度が目標年を下回り、さらに基準年を下回る結果となりました。

指標	基準年(H27)	目標年(H31)	実績(R1)
総合満足度	0.71点	1.00点	0.60点

- 今回の調査で重要項目となった「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」は、これまでの調査でも重要項目とされており、漁業の魅力に強く関わっていると考えられました。
- 総合満足度が低下した要因として、「労働条件」に係る各項目と「漁業就業者支援」の項目で満足度が低下していることから、漁業就業者の高齢化や減少による労働力不足が関与していると考えられました。
- 漁業の魅力（満足度）を高めるため、意欲と能力のある漁業者の生産規模の拡大や省力化機器等の導入、労働力の確保対策や新規漁業就業者の着業支援の強化などの取組を行っていく必要があります。

県は、漁業協同組合、漁業関係団体、市町村などの関係者と連携しながら、本調査の結果を参考に、なりわいとしての漁業の魅力の向上を目指します。また、関係者と連携して魅力の向上に取り組みながら、本調査を定期的に実施し、その取組の効果把握・評価していきます。